

334

MIREI Yutaka
SHOICHIRO Yamazato
RYO Tsukayama

取り組んだ事

未だに紙ベースで出欠をとりそのデータも
管理できていない情報工学科に
出欠確認システムを導入しよう！

現状として

着々と3月中旬のデプロイに向け上の方で準備が進行中で、今もなお、追われています。

各メンバーのFEED BACK

YUTAKA

担当箇所

- ・webアプリケーションの開発・フロントの設計

成長したところ

- ・サーバ構築などわからないことだらけだったが、初めの頃に比べたらだいぶマシになった
- ・djangoを使った開発をやったので、少しだけフレームワークを理解できた

感想

- ・がっつりした開発も学外のプロジェクトへの参加も初めてで緊張した。
- ・メンターの方々やチームメンバーに支えられて何とか生きてこれた。

YAMAZATO

担当箇所

- ・ハード&ラズパイの構築、設計とアイデア発想

成長したところ

- ・バグ修正力とシステムの理解度があがった
- ・無線LANの認証システムは興味が湧いた
- ・自分なりのスキルを身につける手法を見出した。
また、報告・連絡・相談をするべきタイミングを実感した。

感想

- ・3時間悩んだバグの事をメンターに話したら30分で解決方法を見出してくれたりとても勉強になった
- ・報連相を怠ったばかりにチームの動きに支障がでてしまった思い出があり報連相の重大性を気づくいいイベントだった

TSUKAYAMA

やったこと

- ・バックエンドの設計 & ラズパイの設計、構築、全体の進捗管理

成長したところ

- ・プログラミング力、バグ修正力が向上した
- ・システム系の知識が増えたことでシステムをよく理解できるようになった
- ・そしてアイデアの発想法やその練り上げ方がいかに難しいか再確認した

感想

- ・約8ヶ月間を通して勉強し、週一回のフィードバックをすることで知識を定着させてきた。

また、知識だけでなく実際にシステムを構築するために色々な技術を自分で設計して実装することによって理解が深まり体得することができた。

もはや8ヶ月前の自分とは一線を画していると思う！

最後に…

334からみなさまへ